

品確法の基本理念等に則るとともに、i-construction の更なる推進や働き方改革に取り組める環境の充実等を図る観点から最新の情報を踏まえ、積算基準等の改定が行われます。

(1) i-construction（建設生産性革命）の貫徹

<工事>

・ICT 施工の更なる普及（小規模施工の区分の新設）

⇒土工（掘削）において、小規模5千m³未満の区分を新設

・現場管理費の改定

⇒新技術導入等に要する現場経費（外注経費等）の増加を踏まえ全工種区分の現場管理費率を改定（直接工事費2億円の工事では、諸経費率約0.5%増（現場管理費約100万円増））※河川・道路構造物工事

・ICT 積算基準の新設

⇒ICTを取り入れた技術により生産性向上を図るため、積算基準を新設
ICT付帯構造物設置工 / ICT法面工（吹付工） / ICT地盤改良工（浅層、中層混合処理）

(2) 働き方改革に取り組める環境整備

<工事>

・週休2日に取り組む際の必要経費の計上（※国土交通省試行、今年度基準書には掲載なし）

⇒週休2日の実現に向けた環境整備として、現場閉所の状況に応じた労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費の補正係数を継続

・週休2日交替制モデル工事（仮称）の試行（※国土交通省試行、今年度基準書には掲載なし）

⇒建設業の働き方改革を推進し、休日確保に向けた環境整備とし、新たな取り組みを試行

<業務>

・旅費交通費の率化について

⇒実態を踏まえ、旅費交通費の設定を改定

(3) 品確法を踏まえた積算基準の改定

<工事>

・間接工事費の施工地域補正の適用工種拡大(下水道工事)

⇒沿道の工事制約条件が多い都市部における実情を踏まえ、下水道工事に新たな地域補正区分を設定

・熱中症対策に資する現場管理費補正の導入等（※国土交通省試行、今年度基準書には掲載なし）

⇒工事現場の安全（熱中症）対策に係る費用とし、気候及び施工期間を考慮した現場管理費の補正を追加

• 土木工事標準歩掛 改定

⇒新規制定【1工種】

維持修繕に関する歩掛の改定【3工種】

日当たり施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種【9工種】

• 施工パッケージ関係の改定

⇒日当たり施工量、労務、資機材等を改定する工種【17工種】

• 電気通信編 改定

⇒歩掛改定【5工種】

• 機械設備編 改定

⇒歩掛改定【3工種】

<業務>

- 弾性波探査機業務の標準歩掛を実態調査に「照査」を追加

詳細につきましては、下記【参考リンク】よりご確認ください。

【参考リンク】

国土交通省の報道発表資料 “平成31年度 国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定”

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000558.html

国土交通省 土木工事標準歩掛 “国土交通省土木工事積算基準の改定について”

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000024.html

国土交通省 機械設備工事積算基準 “平成31年度版（対比表）”

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000023.html

国土交通省 設計業務等標準積算基準書および同（参考資料） “平成31年度”

http://www.mlit.go.jp/tec/gyoumu_sekisan.html

国土技術政策総合研究所 施工パッケージ型積算方式 “標準単価（平成31年版）”

http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm